一般社団法人 東洋音楽学会　第 74 回大会
後援　国立大学法人 京都教育大学

入場無料

公開講演会

研究者・伝承者・教育者の幸せな連携を考える

―京都の六斎念仏をめぐって―

2023 年
11 月 18 日（土）
12:30 開場
13:00 開演　16:00 終了予定

会　場：国立大学法人京都教育大学 藤森学舎 講堂
京都市伏見区深草藤森町 1
アクセス：「JR 藤森」駅 徒歩 3 分、京阪本線「墨染」駅 徒歩 7 分

■プログラム

13:00　東洋音楽学会第 74 回大会開会

第 1 部　13:10 ～ 14:30　京都の六斎念仏公演

13:10　公開講演会の主旨説明　田中 多佳子

13:15　解説「京都の六斎念仏と芸能六斎」　福持 昌之

13:25　伏見桃山子ども六斎教室による芸能六斎公演
演目　《四つ太鼓》《猿まわし》《越後さらし》

13:45　京都中堂寺六斎会による芸能六斎公演
演目　《六段》《すがらき》《石橋（さっきょ）》
《四つ太鼓》《七草》《祇園ばやし》

第 2 部 14:40 ～ 16:00　シンポジウム

「研究者・伝承者・教育者の幸せな連携を考える―京都の六斎念仏をめぐって―」
問題提起・司会　田中多佳子

1. 教育者の立場から―京都こども六斎教室の歩みと今日　藤田 加代

2. 伝承者の目線から―民俗芸能の伝承におけるこども六斎教室の可能性
福持 昌之

3. 研究者の立場から―伝承と教育と研究の連携の可能性を考える　澤田 篤子

京都中堂寺六斎会

公開講演会に関する問い合わせ
第 74 回大会実行委員会
Mail：tog74taikai@gmail.com

★11 月 19 日（日）は 9：00 より、京都教育大学 2 号館にて、
東洋音楽学会員によるシンポジウムや研究発表が行われます。
非会員は参加費 1500 円が必要です。

京都の六斎念仏

不吉とされる六斎日には精進潔斎して念仏を唱えよ、という仏教の教えに由来する芸能。京都市内各所に伝わる「六斎念仏」は、1983（昭和58）年に国の重要無形民俗文化財に指定された。六斎念仏は、鉦を叩きながら念仏を唱えるものが、次第に芸能化したものであり、京都周辺の農村部では多くの講が組織され活動をしていた。六斎念仏の講には、近世以降、能楽や歌舞伎の演目や、祇園祭の祇園囃子など、さまざまな芸能を取り入れて展開したところもあった。現在、旧来の念仏主体のものを「念仏六斎」、芸能化が著しいものを「芸能六斎」と称している。現在、「京都六斎念仏保存団体連合会」に加入する14団体のうち、中堂寺六斎会を含む10団体は芸能六斎を伝え、その大半が「こども六斎教室」の活動をしている。

関係者プロフィール

伏見桃山子ども六斎教室

文化庁の伝統文化こども教室事業（現、伝統文化親子教室事業）の開始された2003（平成15）年4月から、その助成を受けて活動を続けている。当時の京都六斎念仏保存団体連合会長の呼びかけに、他の7団体と共に、藤田加代教諭率いる伏見桃山子ども六斎教室も名乗りをあげて発足。京都中堂寺六斎会の指導のもと、現在、小学3年生から中学校3年生までの希望者30余名が、京都教育大学附属桃山小学校を活動拠点として、8月をのぞく毎月1回の練習に参加している。

伏見桃山子ども六斎教室の練習風景

京都中堂寺六斎会

今日の京都市下京区中堂寺（ちゅうどうじ）地区に伝わる六斎念仏の保存会。江戸後期に地元の庄屋塩見八右衛門が創始した。周辺地区の六斎念仏と互いに影響しあいながら、長唄・地歌・歌舞伎などの要素も取り入れた娯楽的色彩の強い「芸能六斎」を伝える。70代の長老から小学生まで幅広い年齢層で構成され、2003(平成15)年からは女性の参加を認め、今日では半数近くを占める。地区内で「光徳こども六斎教室」の活動をするほか、「伏見桃山子ども六斎教室」の指導にもあたっている。

福持　昌之

非会員。民俗学研究者。愛知川町史編さん室学芸員、愛荘町愛知川観光協会事務局長を経て、2009年より、京都市文化財保護課の文化財保護技師として民俗文化財を担当。京都市の伝統文化親子教室事業の窓口担当として、助言指導にも携わる。

藤田　加代

非会員。伏見桃山子ども六斎教室代表および京都こども六斎教室連絡会顧問。元京都教育大学附属桃山小学校副校長。

澤田　篤子

会員。日本伝統音楽の研究者であり教員養成にも関わってきた。大阪教育大学名誉教授・洗足学園大学名誉教授。

田中　多佳子

会員。主な研究対象はインド音楽だが、京都教育大学教授として藤田加代教諭と附属桃山小学校における活動に触れる機会が多く、今回の問題提起に至る。